



豊田中だより

令和4年5月13日(金)

5月号

横浜市立豊田中学校

〒244-0815 横浜市戸塚区下倉田町950番地 ☎ 045-864-8640

伸びゆく季節に

校長 上田 篤也

毎朝、正門につながる坂道を歩いていると季節の移ろいを感じることができます。ついこの間までツツジが色とりどりに咲いていましたが、今は2月に凜とした花を咲かせていた梅の木に実がなり、地面に落ちるようになってきました。また、校内の樹木にも若葉が生い茂り、グラウンドを走る生徒のみなさんの姿にも躍動感が感じられます。学校生活の様々な場面で生徒のみなさんの伸びゆく姿を感じることができるようになってきています。部活動でも、新しい部員が加わり、一層の熱気が感じられます。

4月より始まった朝の読書活動では、静かに集中して読書する様子があります。わずか5分間のことではありますが、毎日取り組むことで読書の楽しさが次第に感じられるようになるかと思えます。また、落ち着いた時間を学級のみなさんで共有することで、その日の一日の学習活動に臨むよい姿勢がつけられていくことと思えます。ご家庭におきましても、これまでにご家族のみなさまが読まれてきた本の紹介やお子様が読まれている本について等、読書のことを話題にいただければ幸いです。各学年とも授業に集中して取り組む姿が見受けられ、今後の成果が楽しみです。

今月は前期中間テストや生徒総会、来月初めには各学年の校外行事があります。たくさんの学びの場面、そして自分自身を伸ばすチャンスがあります。日々の授業を大切にしながら、今自分ができていることに学級のみなさんと協力して取り組んでもらえたらと願っています。そのためには、まず生活習慣や学校生活のリズムを整えることが大切です。新しい学年が始まって1ヶ月が過ぎ、まだ自分のペースが定まらない人も多いのではないかと思います。上手くいかないと思う時は、あせることなく先生たちにも相談してください。授業では自ら考えることを大切にするとよいと思います。黒板に書かれたことを書き写すだけでなく、疑問点や理解できたことをノートに書き留めたり、先生から説明されたことを自分の言葉で表現したり、友達と教え合ったりすることがとても有効です。

生徒会活動や行事の準備では、お互いに協力する場面が多くなります。一人では味わえない、集団だからこそ体験できることがたくさんあると思います。様々な課題に力を合わせて解決したり、笑顔で過ごせる楽しい時間を共有したり、そうした体験は心のエネルギーになり、次の活動への意欲にもつながっていきます。また、人との豊かな関係をつくる上では「ありがとう」や「おかげ様で」などの感謝の言葉、「どうしたの?」「大丈夫?」などの相手を心配する言葉、「ごめんなさい」などのお詫びの言葉などを大切にするとよいと思います。上手くいかないこともあるかもしれませんが、そうした時は一人で悩まずに抱えこまずに周りの人、ご家族や先生方にも相談してください。

みんなが安全に生活していくために

豊田中学校では、毎年、PTA 校外委員の皆様が、地域の安全状況を調査し、「安全マップ」を作成しています。A棟昇降口、B棟昇降口にマップは掲示されています。ぜひ確認してみてください。

さて、一斉下校時の様子を学校職員が見守っている際、道幅の狭いところを一人で端に寄っている姿、横断歩道を渡る姿が多く見受けられます。ぜひ、今後も安全第一でお願いいたします。安全マップには、「並び歩き注意」だけでなく、「公園内での遊び方のマナー（ボール遊び注意など）」や、住民の方々へのマナーとして「立ち話禁止」なども表記されています。生徒の皆さんをいつも支えてくださっている地域の皆様が安心・安全に過ごしていくために、豊田中生の協力が必要です。ルールやマナーを守っていきましょう。

話が変わりますが、「ミズキンバイ」という植物を知っていますでしょうか？浅い池や川に生える多年草で、黄色の花が咲きます。なんと、都市河川で確認されているのは全国でも戸塚区に流れている柏尾川のみと言われており、絶滅危惧種に分類されています。ミズキンバイが絶滅しないよう、コンクリートブロックで守られているようです。ぜひ、このミズキンバイの安全も守っていききたいですね。人も植物も、みんなが幸せに生きていけるよう協力していきましょう。

